

令和5年度 「安全重点施策」実施計画表

【安全目標】
令和4年度～令和8年度(5年間)の定量的目標
・死亡事故を5年間発生させない

【安全重点施策】

- ①人身・車内事故の根絶・有責事故(令和4年度19件) / 自損事故の半減(令和4年度17件)
- ②乗降時、着席・離席時および児童・高齢者の安全確認
- ③安全のための投資実施(車両・機器の更新)
- ④安全教育の計画的な実施
- ⑤健康管理の推進

〈月間安全重点項目〉下記

計画	令和5年4月1日	進捗状況	令和6年2月29日
----	----------	------	-----------

【安全重点施策】	
①人身・車内事故の根絶・有責事故(令和4年度19件) / 自損事故の半減(令和4年度17件)	
②乗降時、着席・離席時および児童・高齢者の安全確認	
③安全のための投資実施(車両・機器の更新)	
④安全教育の計画的な実施	
⑤健康管理の推進	

No	安全重点施策	具体的な取組み	推進責任者	上段…○は「計画」下段…実施できたら●			実施内容
				4	5	6	
1	人身・車内事故の根絶 有責事故の半減(令和4年度19件) 自損事故の半減(令和4年度17件)	・適性診断結果を活用した指導 ・充実した点呼の実施 ・事故惹起者への注意喚起 ・5年間・10年間無事故表彰の実施 ・危険予知運転の励行	片岡・渡辺	○	○	○	○
2	乗降時、着席・離席時および児童・高齢者の安全確認	・車内アナウンスによる注意喚起 ・慎重な目視確認の励行 ・ICカードの拡販 ・自社事故ドラレコの活用	片岡・渡辺	●	○	○	○
3	安全のための投資実施 (車両・機器の更新)	・乗合車両1台購入 ・廃止代替車両1台購入 ・ドライブレコーダーの更新 ・乗務員の確保	片岡・渡辺	○	○	○	○
4	安全教育の計画的な実施	・改善基準告示の再徹底 ・ドライブレコーダー映像の活用 ・11項目教育の実施 ・ヒヤリハット報告書の収集・対策 ・事故・故障等を想定した訓練 ・救命救護 ・緊急停止システムの体験 ・運行管理者・補助者の参加	片岡・渡辺	○	○	○	○
5	健康管理の推進	・体調報告 ・健康診断結果の管理 ・自己管理の徹底 ・SAS治療の実施 ・予防接種の推進	片岡・渡辺	○	○	○	○

・健康診断受診
・SAS検査の実施
・予防接種
・新人乗務員へのSAS検査の実施
・新規乗務乗務員2回目の検査実施

	月間安全重点項目	具体的な取組み	推進責任者	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	実施事項
4月	新入学児童、高齢者の安全確保	・社内アナウンスの徹底、慎重な目視	渡辺	○												
5月	人身・車内事故の根絶	・事故分析にもとづく注意喚起 ・適診時、事故のDVD視聴	渡辺	○												
6月	飲酒運転の根絶	・宿舎への不定期訪問	渡辺		○											
7月	時間厳守及び点呼の徹底	・点呼の充実	渡辺		○											
8月	危機予知と回避運転の安全確認	・安全教育の実施	渡辺			○										
9月	健康管理の徹底と適性診断による安全運転	・健診の実施、適診による教育	渡辺				○									
10月	基本運転による無事故無違反	・出発点呼の充実	渡辺					○								
11月	有責事故の根絶(事故防止強化月間)	・事故DVD視聴	渡辺						○							
12月	乗降時、着席・離席時の安全確認	・車内アナウンスによる注意喚起 ・慎重な目視確認の励行	渡辺							○						
1月	輸送の安全・確実、報告・連絡・相談	・報・連・相の徹底、社内周知	渡辺								○					
2月	異常気象時の安全確保	・点呼時の徹底、運行管理者教育	渡辺									○				
3月	ヒヤリハットの活用	・事例収集、社内周知・対策	渡辺										○			

令和4年度 「安全重点施策」実施計画表（計画結果）

【安全目標】
令和4年度～令和8年度(5年間)の定量的目標
・死亡事故を5年間発生させない

【安全重点施策】

- ①人身・車内事故の根絶・有責事故(令和3年度13件) /自損事故の半減(令和3年度12件)
- ②乗降時、着席・離席時および児童・高齢者の安全確認
- ③安全のための投資実施(車両・機器の更新)
- ④安全教育の計画的な実施
- ⑤健康管理の推進

〈月間安全重点項目〉下記

上段…○は「計画」下段…●は「計画」下段…実施できたら●

No	安全重点施策	具体的な取組み	推進責任者	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	実施内容
1	人身・車内事故の根絶 有責事故の半減(令和3年度13件) 自損事故の半減(令和3年度12件)	<ul style="list-style-type: none"> ・適性診断結果を活用した指導 ・充実した点呼の実施 ・事故惹起者への注意喚起 ・5年間無事故彰彰の実施 ・推進責任者セミナーへの参加 ・危険予知運転の励行 	渡辺	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	適性診断 事故惹起者への注意喚起 秋の交通安全大会への参加 年末年始交通安全運動の実施 5年間無事故彰彰
2	乗降時、着席・離席時および児童・高齢者の安全確認	<ul style="list-style-type: none"> ・車内アナウンスによる注意喚起 ・慎重な目視確認の励行 ・ICカードの拡販 ・自社事故ドラレコの活用 	渡辺	●	●	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	事例発起におけるドラレコ分析 転倒の危険度の使用禁止対応 自社ドラレコの活用
3	安全のための投資実施 (車両・機器の更新)	<ul style="list-style-type: none"> ・乗合車両1台購入 ・廃止代替車両1台購入 ・ドライブレコーダーの更新 ・安全機材の取付 	渡辺	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ドライブレコーダーの更新(2台) 運賃点呼機器導入 乗合車両購入
4	安全教育の計画的な実施	<ul style="list-style-type: none"> ・改善基準告示の再徹底 ・ドライブレコーダー映像の活用 ・11項目教育の実施 ・ヒヤリハット報告書の収集・対策 ・事故・故障等を想定した訓練 ・救命救護 ・緊急停止システムの体験 ・運行管理者・補助者の参加 	渡辺	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ヒヤリハット1件報告 業務員教育の実施 デジタコの活用
5	健康管理の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・体調報告 ・健康診断結果の管理 ・自己管理の徹底 ・SAS治療の実施 ・予防接種の推進 	渡辺	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	健診受診 SAS治療の推進 予防接種 新入職員へのSAS検査の実施 深呼吸実務員2回目の検査実施

月間安全重点項目	具体的な取組み	推進責任者	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	実施事項
4月 新入学児童、高齢者の安全確保	・社内アナウンスの徹底、慎重な目視	渡辺・鶴井	●												春の交通安全に参加
5月 人身・車内事故の根絶	・事故分析にもとづく注意喚起 ・適診時、事故のDVD視聴	渡辺・鶴井	○												
6月 飲酒運転の根絶	・宿舎への不定期訪問	渡辺・鶴井	●												足摺・清水宿舎への飲酒抜打ち
7月 時間厳守及び点呼の徹底	・点呼の充実	渡辺・鶴井	●												宿毛営業所運転点呼の準備
8月 危機予知と回避運転の安全確認	・安全教育の実施	渡辺		○											
9月 健康管理の徹底と適性診断による安全運転	・健診の実施、適診による教育	渡辺	●												健康診断全乗務員受診
10月 基本運転による無事故無違反	・出発点呼の充実	渡辺									○				
11月 有責事故の根絶(事故防止強化月間)	・事故DVD視聴	渡辺									○				
12月 乗降時、着席・離席時の安全確認	・車内アナウンスによる注意喚起 ・慎重な目視確認の励行	渡辺									○				
1月 輸送の安全・確実、報告・連絡・相談	・報・連・相の徹底、社内周知	渡辺										●			無事故月間
2月 異常気象時の安全確保	・点呼時の徹底、運行管理者教育	渡辺										●			SAS治療
3月 ヒヤリハットの活用	・事例収集、社内周知・対策	渡辺										●			

令和4年度 「安全重点施策」進捗管理表

【安全目標】
令和4年度～令和8年度(5年間)の定量的目標
・死亡事故を5年間発生させない

【安全重点施策】

- ① 人身・車内事故の根絶・有責事故(令和3年度13件) / 自損事故の半減 (令和3年度12件)
- ② 乗降時、着席・離席時および児童・高齢者への安全確認
- ③ 安全のための投資実施(車両・機器の更新)
- ④ 安全教育の計画的な実施
- ⑤ 健康管理の推進

令和5年3月31日

No	安全重点施策	具体的な取組み	達成度	評定理由(現状把握)	未達成の場合の次期以降での対応	実施事項
1	人身・車内事故の根絶 有責事故の半減(令和3年度13件) 自損事故の半減(令和3年度12件)	・適性診断結果の活用 ・充実した点呼の実施 ・事故惹起者への注意喚起 ・5年間無事故表彰の実施 ・推進責任者安マセミナーへの参加 ・危険予知運転の励行	100% 80%以上 80%未満	80%	安全運転セミナーへの参加 講員の育成セミナーへの参加	適性診断受診 事故惹起者への注意喚起 秋の交通安全への参加
2	乗降時、着席・離席時および児童・高齢者への安全確認	・車内アナウンスによる注意喚起 ・慎重な目視確認の励行 ・ICカードの拡販 ・自社事故ドラレコの活用	100% 80%以上 80%未満	80%	ICカードの拡販	事故惹起におけるドラレコ分析 転倒の危険警報の使用禁止対応
3	安全のための投資実施 (車両・機器の更新)	・乗合車両1台購入 ・廃止代替車両1台購入 ・ドライブレコーダーの更新 ・安全機材の取付	100% 80%以上 80%未満	80%	乗合車両ドラレコの更新	ドライブレコーダーの更新2台 点呼機器の導入 乗合車両購入
4	安全教育の計画的な実施	・労基法、改善基準告示の再徹底 ・ドライブレコーダー映像の活用 ・11項目教育の実施 ・ヒヤリハット報告書の収集・対策強化 ・事故・故障等を想定した訓練 ・救命救護 ・緊急停止システムの実務 ・運行管理者・補助者の参加	100% 80%以上 80%未満	80%	実訓練の実施	ヒヤリハット12件報告 乗務員教育の実施
5	健康管理の推進	・体調報告 ・健康診断結果の管理 ・自己管理の徹底 ・SAS等治療の実施 ・適性診断を活用した指導	100% 80%以上 80%未満	80%	全乗務員との面談	健康診断受診 SAS治療の継続 予防接種